

科目名	基礎きゅう実技	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
	Basic Moxibustion Practical Skills	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分	前期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	
【授業の学習内容】 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。 きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師							
【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。							

授業計画・内容	
1回目	灸術の定義、灸術の材料(鑑別を含む)について説明することができる。
2回目	灸術の種類と目的について説明することができる。艾炷作成手順(艾炷の捻り方)を模倣することができる。
3回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方)を模倣することができる。
4回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方)を模倣することができる。
5回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方)を模倣することができる。
6回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方)を模倣することができる。
7回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方)を模倣することができる。
8回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方)を模倣することができる。
9回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
10回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
11回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
12回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
13回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
14回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
15回目	半米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
準備学習 時間外学習	授業の学習内容に記載している①～④に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイド 文光堂 出版 J-WEB 動画配信コンテンツ	

科目名 (英)	基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分 曜日・時限	前期
学科・コース	鍼灸科						
【授業の学習内容】 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。 きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師							
【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。							

授業計画・内容	
16回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
17回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
18回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
19回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
20回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
21回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
22回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
23回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
24回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
25回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
26回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
27回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
28回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
29回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
30回目	米粒大 艾炷作成手順(艾炷の捻り方、捻り出し方、ちぎり方、立て方、点火)を模倣することができる。
準備学習 時間外学習	授業の学習内容に記載している①～④に関しては教科書ならびに参考図書に熟読した上での受講が望ましい。 J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、刺鍼練習台を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 文光堂 出版 J-WEB 動画配信コンテンツ	

科目名 (英)	基礎きゅう実技 Basic Moxibustion Practical Skills	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分	後期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。 ①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理 実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 阪本 付属治療院やPOSC、よこい鍼灸院などでの勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 前田 付属治療院での勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 実務実績 山上 やまがみ鍼灸院などでの勤務、診察から治療までの業務に従事 資 格 はり師・きゅう師 【到達目標】 ①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。 ②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。 ③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。 ④実技における身だしなみについて理解する。							

授業計画・内容	
31回目	灸術における刺激強度の決定要因について説明することができる。灸術における過誤と副作用について説明することができる。
32回目	灸術の禁忌、不適応について説明することができる。安全な灸術を行うための施術野の消毒法や感染防止について説明できる。
33回目	知熱灸の操作手順を模倣することができる。
34回目	知熱灸の操作手順を模倣することができる。
35回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
36回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
37回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
38回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。
39回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。指定された時間内に知熱灸の交互施灸を行うことができる。
40回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。指定された時間内に知熱灸の交互施灸を行うことができる。
41回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。指定された時間内に知熱灸の交互施灸を行うことができる。
42回目	知熱灸の操作手順を模倣し、正確かつ安全に行うことができる。指定された時間内に知熱灸の交互施灸を行うことができる。
43回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
44回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
45回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
準備学習 時間外学習	教科書 経絡経穴概論を参考に下記経絡の経穴名、取穴部位を予習しておくことが望ましい。 足の少陽胆経(下肢の部分)、足の少陰腎経(下肢の部分)、足の陽明胃経(下肢の部分)、督脈 施灸板にて半米粒大、米粒大の艾炷作成、点火の練習をすることが望ましい。※確認事項(大きさ、硬さ、立て方、燃焼速度) J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、施灸板を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書	はりきゅう理論 医道の日本社 出版
参考書	図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 文光堂 出版
J-WEB	動画配信コンテンツ

科目名 (英)	基礎きゅう実技	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
	Basic Moxibustion Practical Skills	授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 4	開講区分	後期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	

【授業の学習内容】

基礎きゅう実技ではきゅう術の基本的操作の修得を図りながら、日常的な臨床で使用する基本的な施灸技術を身につける。
きゅう術の基本的操作を行う上で必要な以下の項目についても合わせて習得し、説明できるようにする。
①きゅうの基礎知識 ②灸術の種類 ③灸の臨床応用 ④リスク管理

実務実績 王子 POSC、光ヶ丘鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務に従事
資格 はり師・きゅう師

実務実績 阪本 付属治療院やPOSC、よこい鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務に従事
資格 はり師・きゅう師

実務実績 前田 付属治療院での勤務、患者の受付、診察から治療までの業務に従事
資格 はり師・きゅう師

実務実績 山上 やまがみ鍼灸院などでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務に従事
資格 はり師・きゅう師

【到達目標】

①きゅう術の基本的な操作を行うことができる。
②正確かつ安全に施灸操作を行うことができる。
③日常臨床で使用するきゅう法と種類を理解する。
④実技における身だしなみについて理解する。

授業計画・内容	
46回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
47回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
48回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
49回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
50回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
51回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
52回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。
53回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。指定された時間内に半米粒大の透熱灸を連続して行うことができる。
54回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。指定された時間内に半米粒大の透熱灸を連続して行うことができる。
55回目	半米粒大の透熱灸を正確かつ安全に行うことができる。熱緩和方法を行うことができる。指定された時間内に半米粒大の透熱灸を連続して行うことができる。
56回目	人体(足部)へ半米粒大の透熱灸を熱緩和法を用いて指定された時間内に正確かつ安全に連続して行うことができる。
57回目	人体(足部)へ半米粒大の透熱灸を熱緩和法を用いて指定された時間内に正確かつ安全に連続して行うことができる。
58回目	人体(足部)へ半米粒大の透熱灸を熱緩和法を用いて指定された時間内に正確かつ安全に連続して行うことができる。
59回目	胃の六つ灸、小児斜差の灸、中風七穴を選穴し正確かつ安全に連続して行うことができる。
60回目	脚気八処の穴、逆子の灸を選穴し正確かつ安全に連続して行うことができる。
準備学習 時間外学習	教科書 経絡経穴概論を参考に下記経絡の経穴名、取穴部位を予習しておくことが望ましい。 手の陽明大腸経(前腕の部分)、足の少陽胆経(下肢の部分)、足の少陰腎経(下肢の部分)、足の陽明胃経(下肢の部分)、足の太陽膀胱経(腰部)、督脈 施灸板にて半米粒大、米粒大の艾炷作成、点火の練習をすることが望ましい。※確認事項(大きさ、硬さ、立て方、燃焼速度) J-WEB 動画配信コンテンツ内の1年実技を視聴し、施灸板を利用し練習を行うこと。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書 はりきゅう理論 医道の日本社 出版 参考書 図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ 文光堂 出版 J-WEB 動画配信コンテンツ	